

令和5年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 令和5年 4月18日（火）

2 調査対象 第6学年児童18名

3 調査内容

（1）教科に関する調査（国語、算数）

①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

上記①と②を一体的に問う。

（2）学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

4 調査結果

（1）教科に関する調査

国語は、全国平均を上回りました。
算数は、全国平均を上回りました。

（2）児童質問紙調査

成果が見られた項目

- 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- 人が困っているときは、進んで助けていますか。
- 学校に行くのは楽しいと思いますか。
- 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。
- 日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか。
- 授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか。
- 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。
- 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。

課題が見られた項目

- 自分には、よいところがあると思いますか。
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。
- 国語の勉強は好きですか。
- 新聞を読んでいますか。

5 学力向上の取り組み

今回の国語の調査結果では、国語の「読むこと」「書くこと」の領域で、大きく全国平均を上回っていました。普段から発言する前に自分の考えをタブレットやノートに書いている効果が出てきていると考えられます。「聞くこと・話すこと」に関しては、話し手の意図をとらえることや自分の考えと比較することなどに課題が見られます。

算数では、すべての領域で全国平均を上回りました。特に、記述式の問題では全国平均を大きく上回っています。ICT の活用も含め、個に応じた学習や自分の考えをまとめる学習の振り返りなどが効果を上げていると思われます。

これらの結果を踏まえ、本校では今後、次の点について重点的に取り組んでいきます。

- ・国語だけではなくすべての教科において発表の機会を多く設定し、発表後の意見交流などを意図的に行っていきます。
- ・算数においては、タブレットを活用した協働学習やドリルアプリを家庭学習でも積極的に活用するとともに、実物を使った操作活動や作図などにも力を入れていきます。
- ・街探求プロジェクトなどでのインタビューや体験活動を通して、話し手の意図をとらえることや話をもとに自分の考えをまとめる活動を積極的に行います。
- ・授業や学校生活の中で、ICTを活用して考えを共有し、それをもとに議論する場面を多く設定します。
- ・校内での異学年交流や他校との交流活動を通して、多様な考えに触れる機会を増やしコミュニケーション力や関わる力の向上につなげます。

6 保護者・地域の皆様へ

児童の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

○自己肯定感・自己有用感について

- ・学校では閉校記念式典や学校統合に向けた様々な活動を通して、一人ひとりの子どもが活躍したり発表したりする活動を多く設定していきます。それらの活動について、子どもたちを見守り励ましていただきながら、自信をもって自分を表現できるよう声をかけていただきたいと思います。

○家庭での生活、特にゲームの利用に関して。

- ・ゲームやスマホなどのメディアの使用は、一日2時間、連続しての使用は30分の約束を徹底してください。
- ・夜間は、学校のタブレットも含めスマホやゲーム機などは親が預かるようにしてください。

○読書について

- ・学校の図書室利用の機会や貸し出しする本の冊数は非常に増えています。家庭でも公立図書館の利用などを通して本に触れる機会を増やすとともに、家族全体で読書をする時間を作ったり、本や新聞について話題にしたりするなどして、読書をとおした思考力・表現力の向上にご協力ください。

○地域行事等への参加

- ・学校では、「八沢街探求プロジェクト」などを通して、地域のことを学び発信する学習を推進しています。地域での行事等に積極的に参加できるようご協力ください。